

# FOCUS

追いかける。大学生。

関西大・4年

大森 雄貴 さん

LIVE x LINE  
代表

自殺志願者の心の叫びをツイッターやメールで聞き入れる。この活動を行っている団体、LIVE x LINEの代表が大森雄貴さん（関大・4年）だ。うつ病の治療を受けながら、多くの人の相談を受け続けている。



「自殺を考えたことがある。駅のホームで電車が来るとき、ふっと自分が線路に飛び込む幻想が見えた」と大森さんはうつむき加減で話した。大学受験や大学生になったからの多忙なバイト、就活などでも思ったように行かず自尊心が徐々に崩れていった。このことが原因となり、大学3年の終わりがころ、うつ病にかかりひきこもり状態になったという。そしてうつ病が悪

化していき、死までもが身近なものとなっていった。だがこのときは友人に病気のことを打ち明けたことや、恋人がずっと側にいて支えてくれたことなどにより、うつ病も軽度といえるまで回復した。このとき、側にいてくれる人の大切さを知ることができた。「こんな（つらい）思いは誰にもさせたくない。自殺なんかさせたくない」。このような気持ちが自殺防止に

## つながりの連鎖する社会に

取り組む原動力となっている。

大森さんは今年9月、友人らとLIVE x LINEを設立した。ほかの団体では電話相談が主流だが、LIVE x LINEではツイッターやメールでの相談を中心に行っている。これは、つながりにくい自殺相談の電話より身近に感じられ、かつ話すことが苦手な人でも文章の方が気軽に相談できると考えたからだ。現在、10代から40代まで幅広い人から相談を受けている。大森さんもうつ病の患者であるということでも相手も相談しやすいという。「どんな媒体からでもいいからつながりというものを大切にしている」と大森さん。「精神的に孤独な人を減らし、つながりの連鎖する社会」にすることが目標だという。

大森さんの今後について尋ねると「自分のうつ病の回復を目指し、LIVE x LINEの活動の幅を広げていく」と話している。

(聞き手＝興津洋樹)

## UNN関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)